

200313

セミナー「新型コロナウイルスに打ち克つリスク管理対策」のポイント

昨日 (3/12) のオンラインセミナー「新型コロナウイルスに打ち克つリスク管理対策-事業継続 (BCP) のため  
今すること、明日すること」のポイントをお伝えします。

【クラスター (集団) 発生3条件】

○新型コロナウイルスの基礎知識

新型コロナウイルスの特性を知る ⇒

何が分かっているのか、何が解明されていないのか正確に理解する。

正しく恐れる

○BCP (業務継続計画) とリスクマネジメント

BCP = 事業継続計画 (Business Continuity Plan) の頭文字  
経営資源の使用不能等により多くの業務に支障がでる状況下における  
事業継続のあり方 (方針整備・課題抽出・対策整備・対応フロー整備  
等) を「全体最適」の観点で整理する計画のこと。

「部分最適」を目指す通常の危機管理とは異なる。

リスク = (事業経営の) 目的を阻害する要因

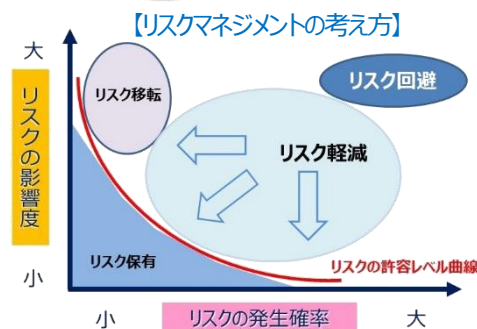
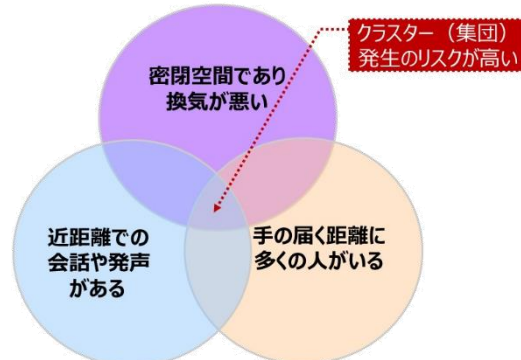
をリスク常に事業目的との関係で把握することが重要

リスクテイクなしには、事業は継続できない。

リスクを0にする手っ取り早い方法は、事業をやめてしまうこと。

リスクをとらない限り、リターン (収益) は生まれてこない。

取るべきリスクは何か、リスクにどう対処するかが重要



○新型コロナウイルス BCP 策定のポイント

リスク特性に合わせて整備する事項が異なる。

(1) 迅速な意思決定が可能な体制を確立 (リスク特性①)

(2) 職員や訪問者、利用者等を守る感染防止策を実施 (リスク特性②)

(3) 事業継続の検討・計画策定 (リスク特性③)

(4) 定期的に職員に対する教育・訓練を実施

(5) 事業継続計画を点検・是正策定ポイント

① 正確な情報集約と判断ができる体制を構築

② 事態の進展に合わせた段階的な対策を整理

③ 体制の確立・感染予防策の検討・業務継続の3つの観点から対策

④ 業務の優先順位

⑤ 「ヒト」資源に対する対策を

⑥ 利用者への対応

⑦ 未発生期に実施する周知・教育、訓練等

【新型コロナウイルスのリスク特性】

項目	地震災害	新型コロナウイルス
事業継続方針	できる限り事業の継続・早期復旧を図る	感染リスク、社会的責任、経営面を勘案し、業務継続のレベルを決める
被害の対象	主として、施設・設備等、社会インフラへの被害が大きい	主として、人への健康被害が大きい
地理的な影響範囲	被害が地域的・局所的 (代替施設での操業や取引事業者間の補充が可能)	被害が国内全域、全世界的となる (代替施設での操業や取引事業者間の補充が不確実)
被害の期間	過去事例等からある程度の影響想定が可能	長期化すると考えられるが、不確実性が高く影響予測が困難
被害発生と被害制御	●主に兆候がなく突発する ●被害量は事後の制御不可能	●海外で発生した場合、国内発生までの間準備が可能 ●被害量は感染防止策により左右される
事業への影響	事業を復旧すれば業績回復が期待できる	集客施設等では長期間利用客等が減少し、業績悪化が懸念される

- ① 情報を正確に入手し、その的確に判断をしていくことが必要
- ② 感染防止策が重要
- ③ 事業継続は主に人のやりくりの問題

【業務の優先順位と内容】

優先度	業務	内容
1	A	通常時と同様に継続すべき業務
1	B	感染予防・感染拡大防止の観点から新たに発生する業務
2	C	規模・頻度を減らすことが可能な業務
3	D	休止・延期できる業務

最大のリスクは、感染の発生や休業ではありません。

信頼を失うことです。

【サービス種類別の優先業務】

業務分類	概要	高齢者		高齢者・障害者・児・保育		障害者・児		保育所
		入所	通所	訪問	入所	通所	入所	
A	通常と同様に継続すべき業務	食事排泄与薬 医療的ケア 清拭		食事排泄与薬 清拭			生命を維持するためのケア 食事排泄与薬	食事保育
B	感染予防・拡大防止の観点から新たに発生する業務	利用者・家族等への各種情報提供、空間的分離のための部屋割り変更、施設内の消毒、換気/感染物の処理、来所者の体温測定、特定接種/集団接種対応 など						
C	規模・頻度を減らすことが可能な業務	入浴リハビリ		入浴		入浴リハビリ		行事外出 体操
D	休止・延期できる業務	上記以外						

このセミナーに参加できなかった会員の方からのご要望がありましたので、クライアント様へ限り、一定期間 (回数制限はありません) ウェブ上で公開します。メールでお申し込みください。URL、パスワード、資料をメールでお送りします。

【時間】 約90分

【料金】 顧問先・セミナー参加者/無料

ウェルビークラブ会員/6,600円 (税込み)

ウェルビーレポート会員/9,900円 (税込み)

【視聴可能期間】 3/16 (月) 10:00 ~ 3/27 (金) 17:00